



「宇宙の日」 作文・絵画
コンテスト

安座間さんに主催者賞



安座間かのんさん

全国の小中学生を対象にした「宇宙の日」作文絵画コンテスト(文部科学省、国立天文台など主催)の審査結果がこのほど発表され、小学生の絵画部門で、県内から那覇市立高良小6年の安座間かのんさん(12)の作品が主催者賞の一つに選ばれた。受賞の知らせに安座間さんは「これまでに描いた絵の中で一番長くかけたと思う。興奮して眠れなかつた」と喜びを話した。



小学生の絵画部門に

は全国から1万6595点の応募があり、主催者賞7点と特別賞1点が選ばれる。安座間さんの作品は「リモート・センシング技術センター理事長賞」を受賞した。表彰式は16日、神奈川県で行われる。

今年(ことし)は作文、絵画とも「宇宙オリンピック」がテーマ。安座間さんの絵には、重量挙げで星を挙げる選手や、スキージャンプする選手、土星の輪をトラックにして走るランナーが登場。宇宙人が声援を送っている。

絵を描くのも、宇宙のことも大好きな安座間さん。将来の夢は「宇宙科学研究所の職員になって探査機などを飛ばす」と、「パイロットになること」と話し、「宇宙で絵を描いてみたい」と笑顔を見せた。

「宇宙の日」の絵画コンテストで主催者賞に選ばれた安座間さんの作品